

「とくしま GIGA 推進月間」の取り組み（6年生）

タブレットを活用した6年生の算数の授業を紹介します。

今回、授業で使ったのは「ロイロノート」という学習アプリで、ノートとして使えるだけでなく、ノートの共有や、画面のモニタリングなどの機能があります。

まず、教師が児童一人一人のタブレットのロイロノートに問題を配信しました。

「比例と反比例」の単元で、児童は、伴って変わる2つの数量の表を見て考察し、「①のグラフと②のグラフは、時間が経つにつれて、水の深さが増えている」「①のグラフは時間が2倍、3倍、……となると、水の深さも2倍、3倍、……と変化している」など、自分の考えをロイロノートの個人ノートに記入していきしました。

次に、4 人のグループで意見交換をしました。班の共有ノートを用いて、友達の考えと自分の考えを比べたり、友達の考えをヒントに自分の考えをまとめたりすることができました。

最後に、グループで話し合ったことをクラス全体で共有し、学習のまとめをしました。

タブレットをノートとして使うことにより、即時に同じ画面を共有することができ、子どもたちが主体的に学習に取り組み、学びを深めることができました。



個人ノートに書き込む様子



班で意見交換する様子



クラス全体で共有する様子